



59-26

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月13日

豊 田 市 長 殿

提出者

住所 名古屋市昭和区福江3丁目7番7号

氏名 東邦ガステクノ株式会社

代表取締役 加藤 孝治

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 052-871-3584

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東邦ガステクノ株式会社 福江事業所		
事業場の所在地	豊田市内各現場		
事業の種類	08 設備工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	924.0 t	全処理委託量	924.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	300.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	924.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
※事務処理欄			

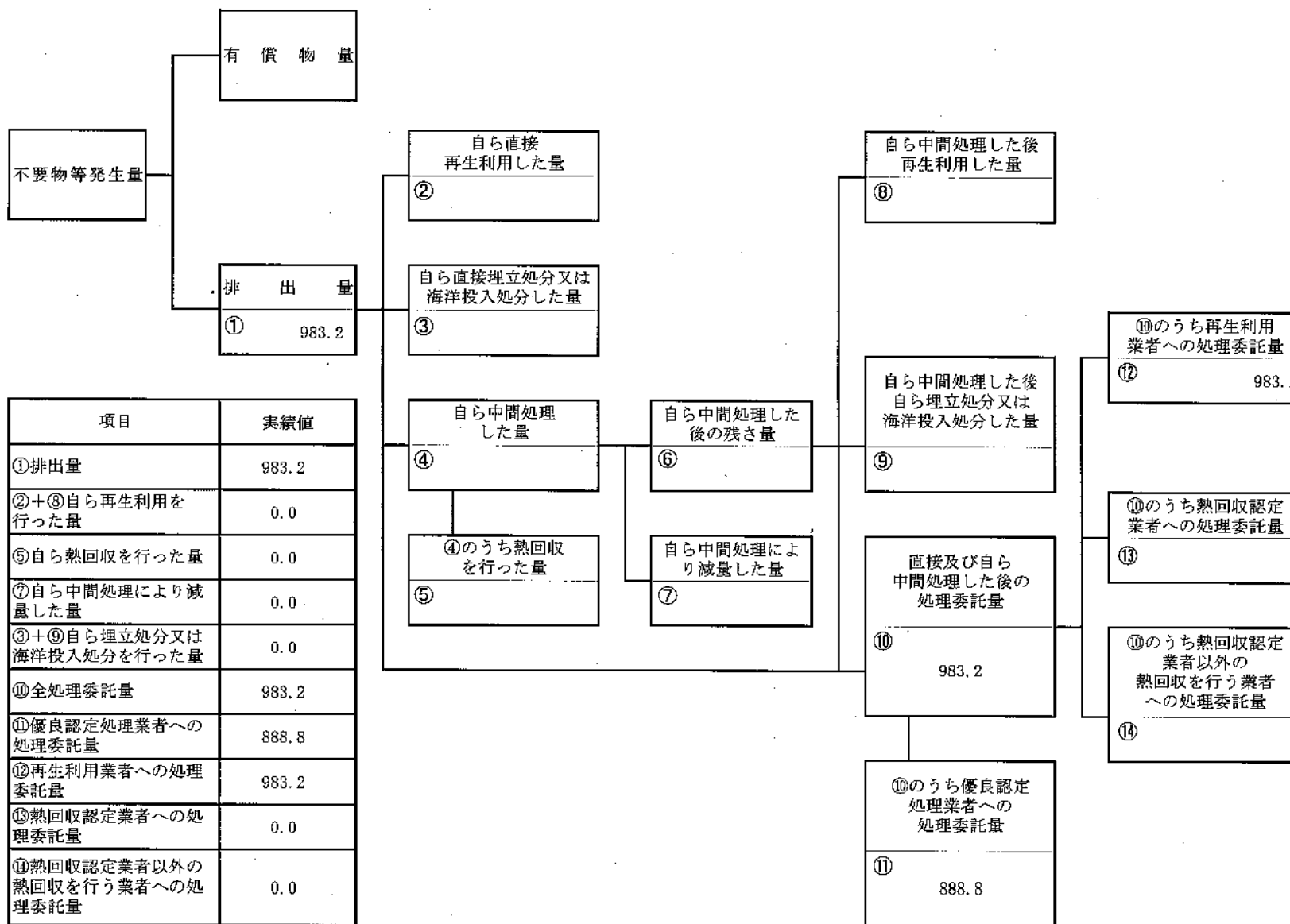
(日本産業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：

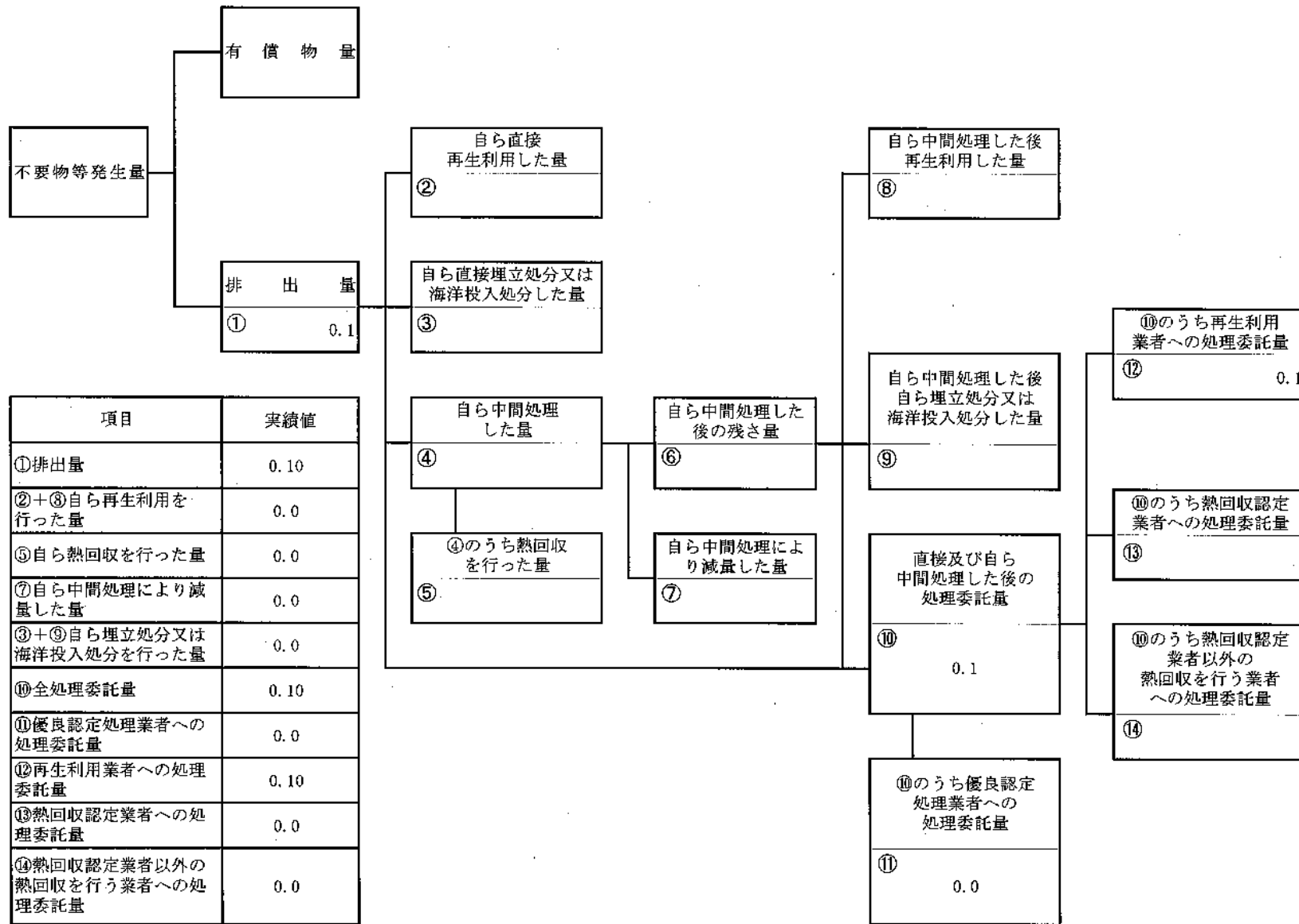
がれき類 (アスファルト塊)

)



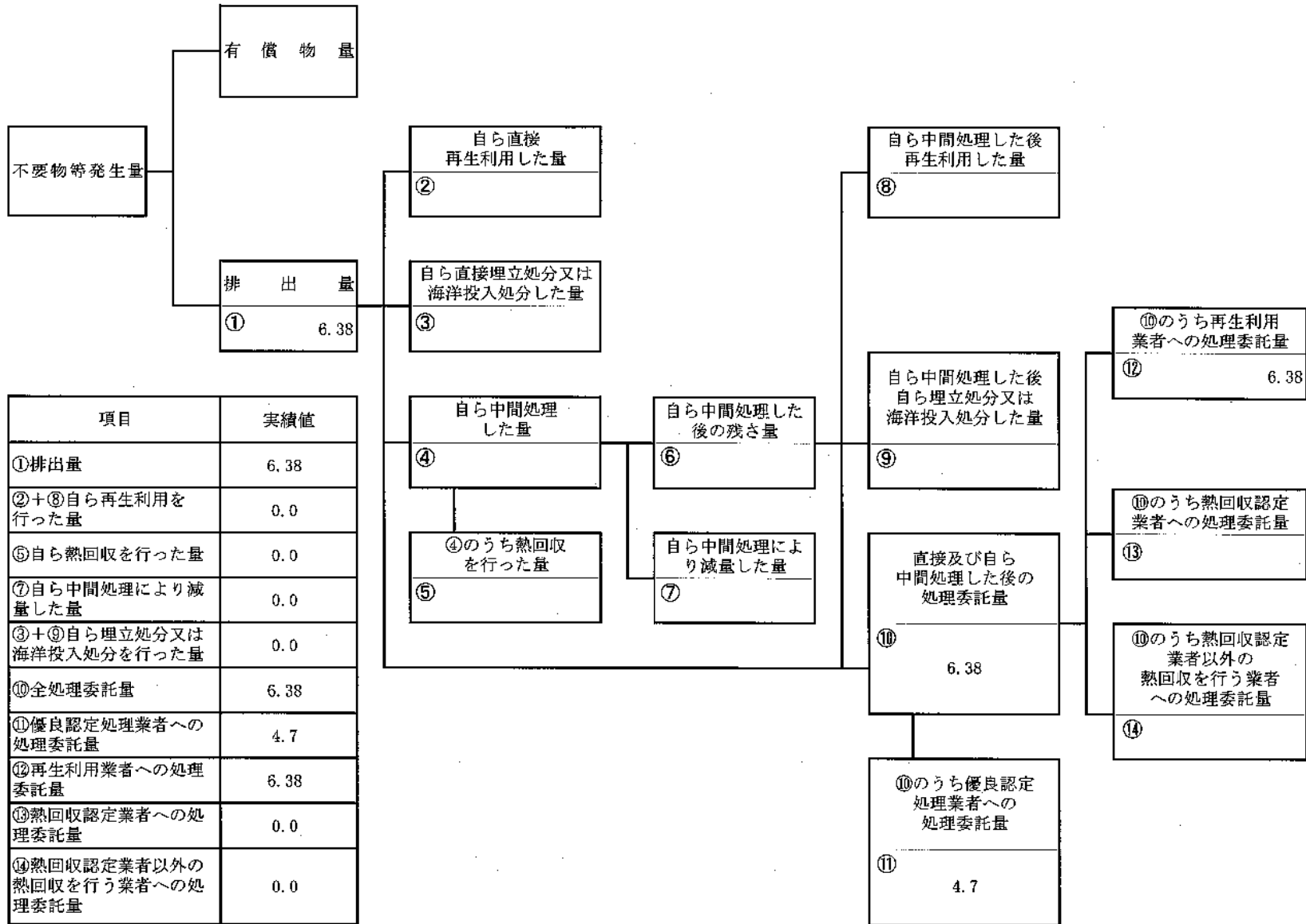
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類 (コンクリート塊))



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 汚泥（建設汚泥）)



産業廃棄物処理状況調査票

(No. 1)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	東邦ガステクノ株式会社 福江事業所	従業員数 (人)	70	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	丸山 ひなた	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)	6,987	建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	(電話) 052-871-3584 (FAX) 052-871-3587	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)		製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	がれき類	がれき類	汚泥		
		アスファルト塊	コンクリート塊	建設汚泥		
前年度計画の実施状況 (3年度実績)	a 不要物等発生量 (t/年)	983.22	0.10	6.38		
	b 有償物量 (t/年)					
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	983.22	0.10	6.38		
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)					
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)					
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)					
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0	0	0		
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)					
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)					
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)					
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0	0	0		
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	983.22	0.10	6.38		
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	983.22	0.10	6.38		
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)					
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	983.22	0.10	6.38		
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)			1.60		
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	983.22	0.10	4.78		
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)					
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	983.22	0.10	4.78		
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	0	0	1.60		
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	0	0	0		

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A:原料・材料 B:燃料 C:飼料・肥料 D:建設材料 E:その他(具体的に記載)

3 処理方法コード A:焼却・溶融 B:脱水・乾燥 C:破碎・圧縮 D:中和 E:その他(具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。